

令和 7 年度平和に関する意識実態調査結果の概要について

I 調査の概要

1 調査の目的等

本市における児童生徒の平和に関する意識の実態及び各学校における取組等を把握し、平和教育の充実を図るための資料を得ることを目的として実施する。なお、今回の調査は、平成 27 年度以来、10 年ぶりの調査となる。

2 調査の内容と方法

(1) 調査Ⅰ「平和に関する意識調査」について

① 内容

- ・ 原子爆弾等の核兵器に関する知識・理解
- ・ 平和に関する関心・意欲 など

② 実施時期 令和 7 年 10 月

③ 調査対象者及び実施方法

市立小学校第 4 学年から高等学校第 3 学年までの児童生徒 3,630 人を抽出し、Google フォームによるオンライン形式で実施。

(2) 調査Ⅱ「学校における取組の状況調査」について

① 内容

- ・ 平和教育に関する取組
- ・ 被爆関連の施設や地域人材等の活用 など

② 実施時期 令和 7 年 10 月

③ 調査対象及び実施方法

全市立幼稚園、小・中・高等学校、広島中等教育学校、広島特別支援学校を対象に、Google フォームによるオンライン形式で実施。

II 調査の結果

1 調査Ⅰ「平和に関する意識調査」について

(1) 原子爆弾等の核兵器に関する知識・理解

表1 原子爆弾等の核兵器に関する知識・理解の正答率

(%)

質問項目	調査対象	小学生			中学生			高校生		
	調査した年	H22	H27	R7	H22	H27	R7	H22	H27	R7
1 広島市に原子爆弾が投下された月日(8月6日)		75.4	90.3	91.6	84.7	92.0	94.9	87.2	92.3	95.7
2 広島市に原子爆弾が投下された時刻(8時15分)		71.7	89.1	84.7	83.3	90.3	91.1	85.6	91.2	92.3
3 広島市に原子爆弾が投下された年(昭和20年・1945年)		35.7	77.8	78.8	57.9	80.9	88.7	70.6	79.3	91.6
4 広島市に投下された原子爆弾によって亡くなった人の数(およそ14万人)		13.3	36.2	54.7	19.2	29.4	52.7	22.0	24.2	47.0

※ 質問項目1～3は記述式、質問項目4は選択式。()は正答を示している。

図1 広島市に原子爆弾が投下された月日

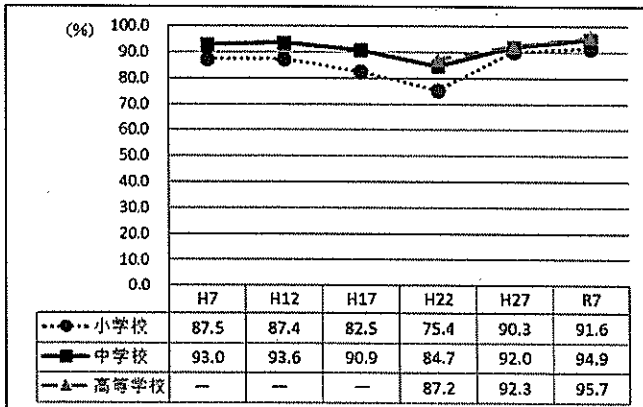


図2 広島市に原子爆弾が投下された時刻

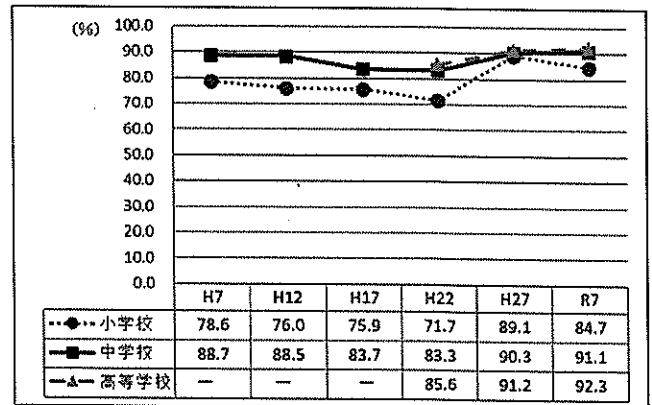


図3 広島市に原子爆弾が投下された年

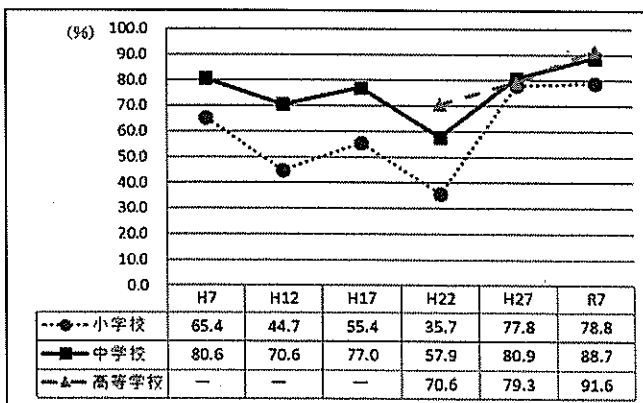
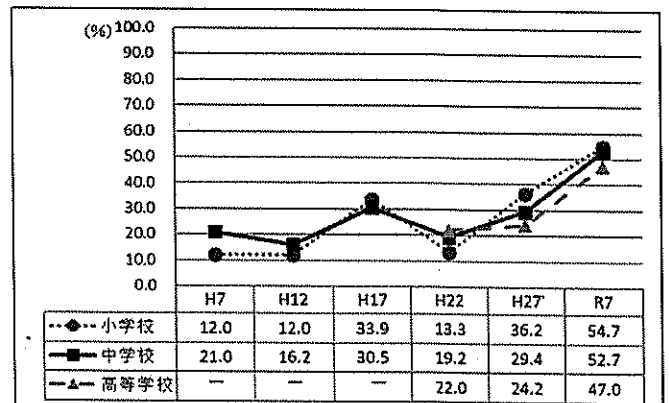


図4 広島市に投下された原子爆弾によって亡くなった人の数



- 原子爆弾が投下された月日や年に関する質問項目については、全校種で正答率が上回っている。
- 原子爆弾が投下された時刻に関する質問項目については、前回の調査と比べて、中学生・高校生の正答率は上回っているが、小学生の正答率が下回っている。
- 広島市に投下された原子爆弾によって亡くなった人の数については、全校種の正答率が10ポイント以上上昇している。

(2) 平和に関する関心・意欲

表2 平和な社会の実現について（意欲）

（％）

番号	質問項目	してみたいと思わない	あまりしてみたいと思わない	まあまあしてみたいと思う	してみたいと思う
1	戦争や原爆について学習すること	5	12	40	43
2	日本や世界の国々について学習すること	4	9	35	52
3	被爆体験者などから話を聴くこと	7	16	40	37
4	戦争や平和について考えること	4	11	40	44
5	折り鶴を献納したり祈ったりすること	6	10	32	51
6	原子爆弾の恐ろしさなどを人々に伝えること	7	19	40	34
7	平和への思いを世界に発信すること	12	24	35	30
8	周りの人や友達と仲良くし助け合うこと	1	2	16	82
9	差別やいじめを受けている人を助けること	1	3	25	71
10	自分や人、生きものの命を大切にすること	1	1	13	85
11	他の国や地域から来た人たちと一緒に暮らせる社会をつくること	2	5	30	63
12	貧しさや飢えのない社会をつくること	2	3	24	71
13	戦争や平和について話し合うこと	5	13	37	45
14	核兵器や兵器のない世界をつくること	3	4	17	77
15	戦争のない世界をつくること	1	2	13	84

表3 平和な社会の実現について（行動）

（％）

番号	質問項目	学習なし 機会なし	学校のみ	学校以外でも	
1	戦争や原爆について学習すること	2	72	25	
2	日本や世界の国々について学習すること	5	67	29	
3	被爆体験者などから話を聴くこと	16	71	13	
4	戦争や平和について考えること	4	62	34	
5	折り鶴を献納したり祈ったりすること	13	70	18	
6	原子爆弾の恐ろしさなどを人々に伝えること	41	53	6	
7	平和への思いを世界に発信すること	48	46	6	
番号	質問項目	全く していない	あまり していない	ときどき している	いつも している
8	周りの人や友達と仲良くし助け合うこと	1	2	20	77
9	差別やいじめを受けている人を助けること	6	17	38	38
10	自分や人、生きものの命を大切にすること	1	2	18	79
11	他の国や地域から来た人たちと一緒に暮らせる社会をつくること	24	30	26	20
12	貧しさや飢えのない社会をつくること	25	32	24	19
13	戦争や平和について話し合うこと	12	28	45	16
14	核兵器や兵器のない世界をつくること	33	34	20	13
15	戦争のない世界をつくること	28	33	23	16

- ・ 表2の平和な社会を実現するための意欲（以下「意欲」という。）に関する設問では、多くの質問項目において70%以上のこどもが肯定的な回答をしている。
- ・ 表3の平和な社会を実現するための行動（以下「行動」という。）に関する設問では、原子爆弾の恐ろしさや平和への思いを人々に伝えること（番号6、7）や、核兵器や戦争のない世界をつくること（番号14、15）などの質問項目において、実際に行動しているという回答の割合が低くなっている。

(3) 原子爆弾や戦争に関する学習経験

表4 原子爆弾や戦争について教わった人 (%)

項目	小学校			中学校			高校生		
	H22	H27	R7	H22	H27	R7	H22	H27	R7
ひいおじいさんやひいおばあさん	-	-	14.2	-	-	14.1	-	-	9.5
おじいさんやおばあさん	44.8	38.9	19.8	38.8	32.8	16.8	38.7	30.8	13.8
お父さんやお母さん	43.7	41.2	36.1	23.0	23.1	23.3	18.4	15.2	14.9
親戚(しんせき)の人	9.4	9.0	5.1	9.7	6.7	5.3	8.1	6.9	3.0
お兄さんやお姉さん	5.9	6.3	5.5	1.8	2.2	2.9	1.2	1.2	1.0
被爆体験者	52.2	66.5	48.7	68.7	68.7	66.3	71.7	74.0	74.1
被爆体験者以外のゲストティーチャー	-	-	26.1	-	-	25.4	-	-	28.5
幼稚園や学校の先生	85.5	85.5	73.0	77.1	81.8	69.1	81.8	74.8	72.0

表5 原子爆弾や戦争についての学習素材・情報源 (%)

項目	小学校			中学校			高等学校		
	H22	H27	R7	H22	H27	R7	H22	H27	R7
平和記念資料館の資料	74.3	75.1	60.7	88.3	88.0	83.3	93.2	88.3	85.7
原爆死没者追悼平和祈念館の資料	9.9	14.3	28.1	19.8	22.2	47.1	25.6	16.3	51.1
原爆の慰霊碑	50.7	58.3	36.4	54.8	64.4	50.8	60.6	57.4	58.9
教科書	54.3	71.2	73.5	68.8	83.5	84.3	78.0	74.4	79.7
社会科副読本「わたしたちの広島」	67.4	67.4	58.5	47.5	31.6	39.2	12.5	15.3	33.3
「ひろしま平和ノート」	-	79.1	79.3	-	76.2	80.3	-	48.0	71.3
先生が配布した資料	44.9	48.1	47.4	70.4	65.9	63.8	77.3	70.5	63.1
テレビ	81.8	78.9	70.8	84.7	80.7	77.4	87.5	75.4	72.0
雑誌	6.4	8.0	7.2	6.2	6.2	7.1	3.1	5.4	5.7
本	57.1	49.6	74.4	49.6	40.6	60.8	52.2	36.3	53.6
絵本	39.5	44.9	29.2	32.2	32.7	25.5	31.7	26.8	22.6
漫画	-	-	30.0	-	-	41.6	-	-	40.7
新聞	29.4	31.3	20.3	35.7	38.8	18.2	34.1	33.6	16.9
映画	23.8	26.2	22.0	36.9	31.8	26.3	40.6	36.7	30.8
インターネット(SNSや動画投稿サイトを含む)	25.7	29.7	43.2	22.7	32.7	47.5	16.2	25.0	40.5
紙芝居	19.1	24.1	14.1	13.6	15.3	12.7	10.6	13.4	16.9

表6 見学した場所 (%)

項目	小学校			中学校			高等学校		
	H22	H27	R7	H22	H27	R7	H22	H27	R7
平和記念資料館	79.6	85.4	69.1	92.9	95.9	88.3	96.9	95.2	90.7
原爆ドーム	95.3	95.6	90.6	96.6	96.6	95.2	96.9	95.1	93.9
本川小学校平和資料館	-	2.4	7.9	-	11.5	7.3	-	6.2	7.0
袋町小学校平和資料館	-	2.6	9.4	-	5.6	7.3	-	5.7	7.0
平和記念公園の慰霊碑	64.2	69.9	36.9	73.6	73.5	45.0	83.9	69.4	53.8
原爆病院	8.8	9.5	7.5	11.1	10.9	13.2	9.2	10.4	10.8
原爆養護ホーム	2.8	3.3	2.3	3.8	4.2	4.4	2.9	3.0	2.0
地域の慰霊碑	26.4	22.4	15.9	17.0	17.6	13.3	20.0	16.5	13.3
郷土資料館	31.1	39.6	16.1	26.8	27.9	13.8	23.4	23.9	16.6
原爆死没者追悼平和祈念館	9.9	10.3	22.8	17.4	14.3	28.1	16.9	9.4	23.3

- 表4の原子爆弾や戦争について教わった人に関する設問では、「被爆体験者」「幼稚園や学校の先生」と回答した割合は、他の項目と比べて比較的高い。また、前回の調査と比べて、「おじいさんやおばあさん」と回答した割合は、大幅に低くなっている。
- 表5の原子爆弾や戦争についての学習素材や情報源に関する設問では、原爆死没者追悼平和祈念館の資料や本、インターネットから情報を得ると回答した割合が、前回の調査と比べて、10ポイント以上高くなっている。
- 表6の見学した場所に関する設問では、前回の調査と比べて、原爆死没者追悼平和祈念館を見学している割合は全校種において高くなっているが、広島平和記念資料館や平和記念公園の慰霊碑の割合は低くなっている。

表7 学習経験と意欲・知識・行動の関係

(%)

学習経験	意欲スコア			知識スコア			行動スコア			
	〇〇の経験ありの平均スコア	〇〇の経験なしの平均スコア	差「あり」-「なし」	〇〇の経験ありの正答率	〇〇の経験なしの正答率	差「あり」-「なし」	〇〇の経験ありの平均スコア	〇〇の経験なしの平均スコア	差「あり」-「なし」	
誰から	ひいおじいさんやひいおばあさん	82.7	80.0	2.7	68.8	70.4	-1.6	60.1	55.8	4.3
	おじいさんやおばあさん	84.1	79.5	4.6	71.6	69.9	1.7	62.1	55.1	7.0
	お父さんやお母さん	84.4	78.7	5.7	68.9	70.7	-1.8	60.6	54.7	5.9
	親戚(しんせき)の人	84.4	80.1	4.3	69.1	70.2	-1.1	64.7	55.9	8.8
	お兄さんやお姉さん	83.8	80.2	3.6	63.7	70.4	-6.7	60.9	56.2	4.7
	被爆体験者	81.1	79.2	1.9	75.1	70.7	4.4	57.4	54.8	2.6
	被爆体験者以外のゲストティーチャー	83.1	79.3	3.8	76.0	68.1	7.9	59.4	55.3	4.1
	幼稚園や学校の先生	81.1	78.3	2.8	71.2	67.6	3.6	56.0	57.3	-1.3
何から	平和記念資料館の資料	81.1	78.3	2.8	73.7	60.8	12.9	57.2	54.0	3.2
	原爆死没者追悼平和祈念館の資料	81.6	79.5	2.1	75.8	66.6	9.2	58.6	55.0	3.6
	原爆の慰霊碑	81.9	79.0	2.9	76.7	64.9	11.8	58.0	55.0	3.0
	教科書	81.2	77.0	4.2	72.2	62.9	9.3	57.0	53.9	4.9
	社会科副読本「わたしたちの広島」	83.4	77.5	5.9	71.8	68.7	3.1	58.9	54.0	4.9
	「ひろしま平和ノート」	81.5	76.1	5.4	71.5	64.9	6.6	56.8	54.7	2.1
	先生が配布した資料	81.6	78.7	2.9	74.2	65.1	9.1	57.5	54.9	2.6
	テレビ	81.8	76.3	5.5	73.0	62.6	10.4	57.1	54.2	2.9
	雑誌	83.1	80.1	3.0	73.4	69.9	3.5	63.3	55.8	7.5
	本	82.9	75.3	7.6	71.8	66.9	4.9	58.4	52.4	6.0
	絵本	84.2	78.9	5.3	74.1	68.7	5.4	60.4	54.9	5.5
	漫画	82.4	79.2	3.2	76.0	67.0	9.0	58.4	55.2	3.2
	新聞	83.8	79.5	4.3	75.1	69.0	6.1	60.5	55.4	5.1
	映画	82.8	79.5	3.3	74.6	68.7	5.9	59.4	55.3	4.1
インターネット(SNSや動画投稿サイトを含む)	82.5	78.6	3.9	73.8	67.3	6.5	58.3	54.8	3.5	
紙芝居	83.4	79.8	3.6	75.5	69.3	6.2	60.1	55.7	4.4	
どこから	平和記念資料館	80.5	79.7	0.8	72.6	61.1	11.5	56.7	54.8	1.9
	原爆ドーム	80.8	74.8	6.0	71.2	57.4	13.8	56.7	52.4	4.3
	本川小学校平和資料館	82.3	80.2	2.1	76.8	69.6	7.2	61.0	56.0	5.0
	袋町小学校平和資料館	82.5	80.1	2.4	77.1	69.6	7.5	58.7	56.1	2.6
	平和記念公園の慰霊碑	82.3	78.9	3.4	76.2	65.7	10.5	58.4	54.9	3.5
	原爆病院	83.0	80.0	3.0	76.7	69.6	7.1	62.9	55.6	7.3
	原爆養護ホーム	80.1	80.3	-0.2	72.0	70.1	1.9	64.5	56.1	8.4
	地域の慰霊碑	84.1	79.7	4.4	78.2	68.8	9.4	60.8	55.6	5.2
	郷土資料館	84.0	79.7	4.3	74.6	69.4	5.2	60.0	55.7	4.3
	原爆死没者追悼平和祈念館	83.0	79.4	3.6	76.7	68.0	8.7	59.2	55.4	3.8

※ 経験ありと経験なしの差をみて、経験ありの方が5ポイント以上高いものに網掛けをし、10ポイント以上高いものには濃い網掛けをしている。

- ・ 意欲については、本、社会科副読本、「ひろしま平和ノート」などの資料を活用して学習している人は、スコアが比較的高くなっている。
- ・ 知識については、広島平和記念資料館、原爆ドーム、慰霊碑などの施設見学を経験している人は、他の学習経験と比べて正答率が高い傾向がある。
- ・ 行動については、親戚の人、おじいさんおばあさんなどの家族や身近な人から学びを得ている人は、スコアが高くなっている。

(4) 平和のイメージ

表8 出現頻度の高い語の一覧

順位	小学生			中学生			高校生		
	語	カウント数	重み付け (%)	語	カウント数	重み付け (%)	語	カウント数	重み付け (%)
1	戦争	158	5.72	みんな	226	6.63	世界	79	4.81
2	みんな	154	5.58	戦争	194	5.69	戦争	78	4.75
3	楽しい	115	4.16	世界	181	5.31	平和	68	4.14
4	平和	111	4.02	平和	136	3.99	みんな	61	3.72
5	幸せ	95	3.44	幸せ	132	3.87	争い	57	3.47
6	世界	82	2.97	争い	110	3.23	幸せ	51	3.11
7	笑顔	70	2.53	暮らせる	88	2.58	安心	37	2.25
8	争い	51	1.85	笑顔	87	2.55	暮らせる	33	2.01
9	仲良く	34	1.23	安心	71	2.08	大切	30	1.83
10	喧嘩	34	1.23	楽しい	70	2.05	難しい	25	1.52
11	暮らせる	32	1.16	平等	44	1.29	鳩	23	1.40
12	友達	30	1.09	大切	40	1.17	安全	22	1.34
13	食べる	28	1.01	安全	40	1.17	実現	22	1.34
14	原爆	27	0.98	当たり前	40	1.17	当たり前	22	1.34
15	優しい	26	0.94	生活	36	1.06	生活	20	1.22
16	ご飯	25	0.91	自由	34	1.00	核兵器	15	0.91
17	怖い	25	0.91	喧嘩	30	0.88	穏やか	15	0.91
18	自然	24	0.87	核兵器	30	0.88	楽しい	14	0.85
19	家族	21	0.76	過ごせる	30	0.88	笑顔	14	0.85
20	悲しい	21	0.76	実現	29	0.85	自由	14	0.85
21	明るい	20	0.72	生きる	26	0.76	平等	13	0.79
22	自由	20	0.72	日常	25	0.73	生きる	13	0.79
23	大切	19	0.69	鳩	25	0.73	日常	12	0.73
24	安心	18	0.65	仲良く	21	0.62	暮らす	10	0.61
25	安全	16	0.58	今	20	0.59	過ごせる	10	0.61
26	爆弾	16	0.58	差別	20	0.59	良い	8	0.49
27	生活	16	0.58	難しい	19	0.56	お互い	7	0.43
28	ドーム	15	0.54	国	18	0.53	仲良し	7	0.43
29	学校	14	0.51	食べる	18	0.53	守る	7	0.43
30	毎日	14	0.51	いじめ	17	0.50	尊重	7	0.43
31	生きる	14	0.51	怖い	15	0.44	考える	7	0.43
32	笑う	14	0.51	暮らす	15	0.44	送れる	7	0.43
33	豊か	14	0.51	毎日	15	0.44	大事	6	0.37
34	過ごせる	14	0.51	笑う	15	0.44	紛争	6	0.37
35	なくなる	13	0.47	世界中	14	0.41	続く	6	0.37

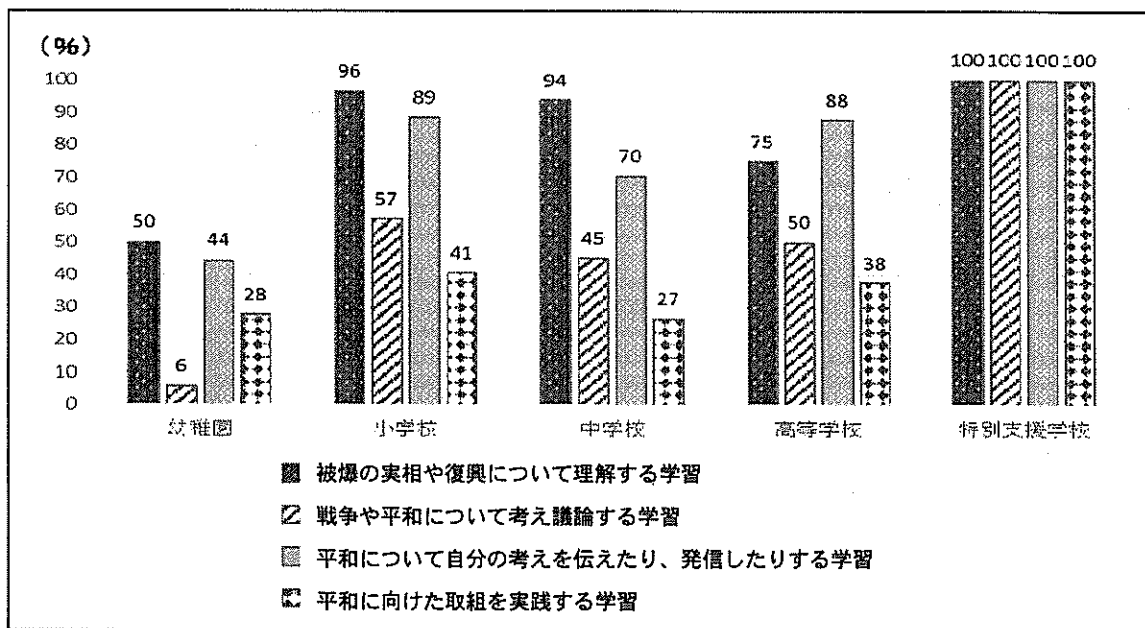
※ 回答内容を集計し、出現頻度が高い上位35語を抽出している。各語が全体に占める割合を「重み付け (%)」として表している。

- ・ 平和のイメージを表現する際に使われる語として、「戦争」「みんな」といった語が、どの校種でも多く見られる。
- ・ 「楽しい」「仲良く」などの語については、小学生は出現頻度が高く、中学生、高校生では出現頻度が低くなっている。
- ・ 「世界」「安心」などの語については、小・中・高と校種が上がるにつれて、出現頻度が高くなっている。

2 調査Ⅱ「学校における取組の状況調査」について

(1) 平和教育に関する取組

図5 原子爆弾や戦争に関する学習場面の実施率

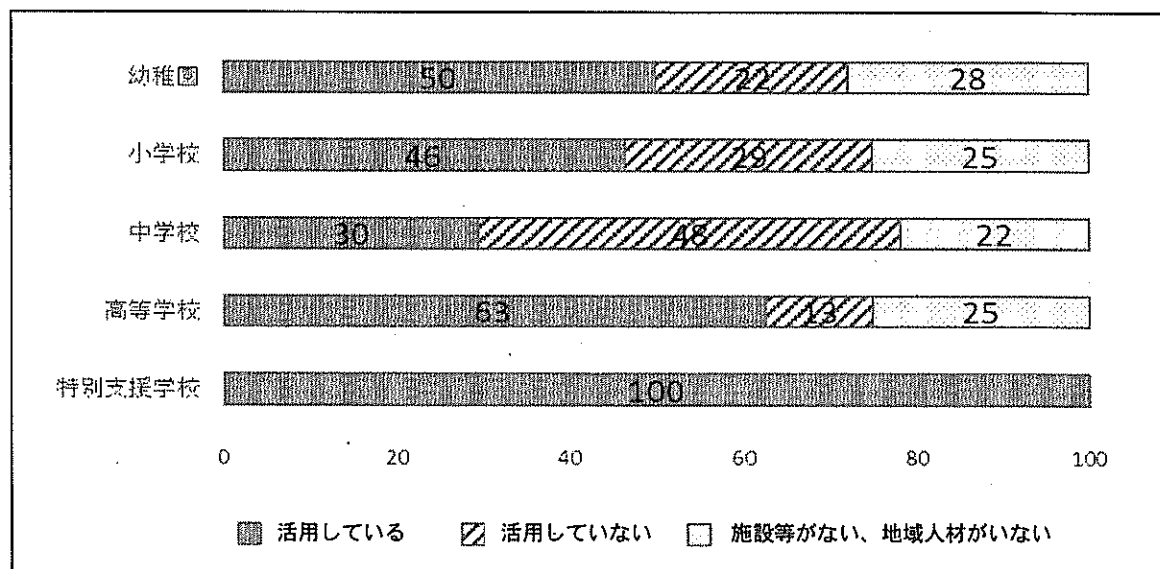


※ 中等教育学校の回答については、前期課程を中学校に、後期課程を高等学校に含んでいる。

・ 「被爆の実相や復興を理解する学習」「平和について自分の考えを伝えたり、発信したりする学習」を実施している学校の割合は、全体的に高い。

(2) 被爆関連の施設や地域人材等の活用

図6 学区内における被爆関連の施設や地域人材等の活用状況



※ 中等教育学校の回答については、前期課程を中学校に、後期課程を高等学校に含んでいる。

・ 幼稚園、小・中学校では、半数以上の学校が、「(被爆関連の施設や地域人材等を)活用していない」または、「被爆関連の施設等がない、地域人材がない」と回答している。

Ⅲ まとめと今後の平和教育への展望

今回実施した調査等の結果を踏まえ、今後の平和教育の充実に向けた方向性をまとめた。

1 広島市に原子爆弾が投下された日時等について

今回の調査で、広島市に原子爆弾が投下された日時等について、前回の調査より多くの質問項目で正答率が上回っていることが分かった。全校において平和教育プログラムを実施してきた成果であると考えられる。こうしたことから、引き続き、平和教育プログラムに基づいた平和教育を推進していく必要がある。

2 平和な社会の実現に関する意欲について

今回の調査で、「ひろしま平和ノート」や平和に関する書籍等の資料を活用して学習することが、意欲の向上につながっていることが分かった。こうしたことから、引き続き、「ひろしま平和ノート」の積極的な活用を促すとともに、平和に関する書籍等を広く紹介していく必要がある。

3 原子爆弾等の核兵器に関する知識について

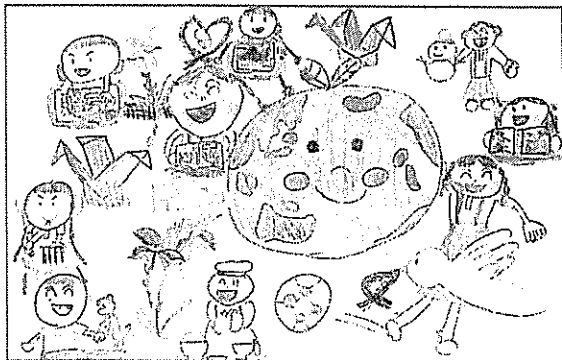
今回の調査で、広島平和記念資料館、原爆ドーム、慰霊碑等の被爆関連施設などの施設を活用して学習することが、知識の定着につながっていることが明らかとなった。こうしたことから、被爆関連施設等を計画的に活用した学習を促すとともに、学区内において被爆体験や戦争体験を語り継ぐ活動を行っている方（地域人材）や地域の被爆関連施設の情報を学校へ提供し、これらの活用を働きかけていく必要がある。

4 平和な社会の実現に関する行動について

今回の調査では、平和について、家族や身近な人から学んだり、原爆養護ホームなどで被爆体験者の方から直接学んだりすることが、平和な社会をつくっていくための行動につながっていることが分かった。しかしながら、被爆の実相を知る家族や被爆体験者からの学びの機会は減少しており、学校での学びの重要性はこれまで以上に高まっていることから、被爆体験者等の外部人材の活用や被爆体験者の証言を映像化した平和教育アークイプスの活用、家庭での対話の機会を設ける取組等を促していく必要がある。

5 平和への思いの発信について

発信することへの意欲に関する項目について、70%以上の子どもたちが肯定的な回答をしており、小学校、中学校、高等学校においても、70%以上の学校が平和について自分の考えを伝えたり発信したりする学習を実施していることが分かった。一方で、平和について自分の考えを伝えたり発信したりする学習を「学校以外でも行っている」と回答した子どもの割合が低いことから、学校以外で自ら発信することには至っていない。今後は、学校外においても被爆の実相や平和への思いを発信する機会を創出していく必要がある。



【被爆80周年記念事業】

つながろう 平和文化の輪

～第19回小・中・高校生による文化の祭典～

共同制作プロジェクト

「みんなでつくろう へいわの え」

「みんなニコニコ」

広島市立大州小学校 1年 石川 史榮

参考資料

令和7年度

平和に関する意識実態調査質問項目一覧表

- 1 調査Ⅰ「平和に関する調査」
- 2 調査Ⅱ「学校における取組の状況調査」

質問項目一覧表【調査Ⅰ：平和に関する意識調査】

番号	質問項目
<p>問1【広島市に投下された原子爆弾について（投下された年月日時）】 広島市に投下された原子爆弾についてお聞きします。</p>	
(1)	広島市に原子爆弾が投下されたのは「何月何日」ですか。
(2)	広島市に原子爆弾が投下されたのは「何時何分」ですか。
(3)	広島市に原子爆弾が投下されたのは「何年」ですか。
<p>問2【平和に対するイメージについて】 平和に対するイメージについてお聞きします。</p>	
(1)	<p>あなたは、平和に対してどのようなイメージをもっていますか。思いつく言葉や気持ちなどを自由に書いてください。</p> <p>【自由記述】</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>
<p>問3【原子爆弾や戦争のことを学んだ経験について】 広島市に投下された原子爆弾や戦争のことについて、どのように教わったのかを聞きます。</p>	
(1)	<p>あなたは、広島市に投下された原子爆弾や戦争のことについて、だれから教わりましたか。当てはまるものを全てえらんでください。</p> <p>【選択肢】</p> <p>① ひいおじいさんやひいおばあさん ② おじいさんやおばあさん ③ お父さんやお母さん ④ 親戚（しんせき）の人 ⑤ お兄さんやお姉さん ⑥ 被爆体験者 ⑦ 被爆体験者以外のゲストティーチャー ⑧ 幼稚園や学校の先生 ⑨ その他（ ）</p>
(2)	<p>あなたは、原子爆弾や戦争のことについて、何から見たり聞いたりしましたか。当てはまるものを全てえらんでください。</p> <p>【選択肢】</p> <p>① 平和記念資料館の資料 ② 原爆死没者追悼平和祈念館の資料 ③ 原爆の慰霊碑 ④ 教科書 ⑤ 社会科副読本「わたしたちの広島」 ⑥ 「ひろしま平和ノート」 ⑦ 先生が配布した資料 ⑧ テレビ ⑨ 雑誌 ⑩ 本 ⑪ 絵本 ⑫ 漫画 ⑬ 新聞 ⑭ 映画 ⑮ インターネット（SNSや動画投稿サイトを含む） ⑯ 紙芝居 ⑰ その他（ ）</p>

問5【平和な社会の実現について（行動）】

平和な社会をつくるために「行動（活動）していること」についてお聞きします。平和な社会をつくっていくために、(1)～(15)のことをどのくらい行っていますか。それぞれについて、当てはまるものを1つえらんでください。

<p>(1)</p>	<p>学習</p>	<p>戦争や原子爆弾について学習している。 ※ 昔のことだけでなく、現在のこともふくむ。 【選択肢】 ① 学校での学習だけでなく、自分で調べたり学習したりしている ② 学校の授業や行事でのみ学習している ③ 学習していない</p>
<p>(2)</p>		<p>広島だけでなく、日本や世界の国について学習している。 ※ 戦争のことだけでなく、社会や文化、自然などもふくむ。 【選択肢】 ① 学校での学習だけでなく、自分で調べたり学習したりしている ② 学校の授業や行事でのみ学習している ③ 学習していない</p>
<p>(3)</p>		<p>被爆体験者などから話をきいている。 【選択肢】 ① 学校の授業や行事以外でもきいている ② 学校の授業や行事でのみきいている ③ 特にきく機会がない。</p>
<p>(4)</p>		<p>学習したことやきいたことをもとに、戦争や平和について考えていますか。 【選択肢】 ① 学校の授業や行事以外でも考えている ② 学校の授業や行事でのみ考えている ③ 考えていない</p>
<p>(5)</p>	<p>継承 ・ 発信</p>	<p>平和記念公園などで、折り鶴を献納したり祈ったりしている。 【選択肢】 ① 学校の授業や行事以外でも行っている ② 学校の授業や行事でのみ行っている ③ 行っていない</p>
<p>(6)</p>		<p>原子爆弾のおそろしさや被害の様子を人々に伝える活動を行っている。 【選択肢】 ① 学校の授業や行事以外でも行っている ② 学校の授業や行事でのみ行っている ③ 行っていない</p>
<p>(7)</p>		<p>平和への思いを言葉や絵、音楽などで世界に発信する活動を行っている。 【選択肢】 ① 学校の授業や行事以外でも行っている ② 学校の授業や行事でのみ行っている ③ 行っていない</p>

(8)	協調 ・ 尊重	周りの人や友達となかよくし、助け合っている。 【選択肢】 ① いつもしている ② ときどきしている ③ あまりしていない ④ 全くしていない
(9)		差別やいじめを受けている人がいた時、助けている。
(10)		自分や人、生きものの命を大切にしている。
(11)		様々な国や地域から来た人々と一緒に楽しく暮らせる社会をつくるために行動（活動）している。
(12)		貧しさや飢え（うえ）のない社会をつくるために行動（活動）している。
(13)		戦争や平和について話し合っている。
(14)		原子爆弾などの核兵器や武器のない世界をつくるために行動（活動）している。
(15)		戦争のない世界をつくるために行動（活動）している。
問 6 【広島市に投下された原子爆弾について（被害）】		
広島市に投下された原子爆弾によって亡くなった人の数についてお聞きします。		
(1)	広島市に投下された原子爆弾によって亡くなった人の数は、その年の12月末まででおよそ何人でしょうか。次の中から当てはまるものを1つえらんでください。 【選択肢】 ① 1500人 ② 3000人 ③ 3万人 ④ 7万人 ⑤ 14万人 ⑥ 25万人 ⑦ 30万人以上 ⑧ 知らない	
問 7 【広島市以外に投下された原子爆弾について（投下された都市・炸裂した年月日時）】		
広島市以外に投下された原子爆弾についてお聞きします。		
(1)	あなたは、広島市以外に原子爆弾が投下されたことを知っていますか。次の中から当てはまるものを1つえらんでください。 ※「知っている」「聞いたことがあるがくわしくは知らない」と回答した人は、(2)～(5)にも回答してください。 ※「知らない」と回答した人は、【問8】に進んでください。 【選択肢】 ① 知っている ② 聞いたことはあるがくわしくは知らない ③ 知らない	
(2)	広島市以外に原子爆弾が投下された都市はどこですか。次の中から当てはまるものを1つえらんでください。 【選択肢】 ① 札幌市 ② 仙台市 ③ 名古屋市 ④ 京都市 ⑤ 東京都 ⑥ 長崎市 ⑦ 沖縄市 ⑧ どの都市かは知らない	
(3)	(2)でえらんだ都市で原子爆弾が炸裂（さくれつ）したのは「何月何日」ですか。	
(4)	(2)でえらんだ都市で原子爆弾が炸裂（さくれつ）したのは「何時何分」ですか。	
(5)	(2)でえらんだ都市で原子爆弾が炸裂（さくれつ）したのは「何年」ですか。	

問8【その他】

「非核三原則」についてお聞きします。

(1)	<p>あなたは、日本が唯一の戦争被爆国として決めている「非核三原則」の内容を知っていますか。次の中から当てはまるものを1つえらんでください。</p> <p>※「知っている」「聞いたことがあるがくわしくは知らない」と回答した人は、(2)にも回答してください。</p> <p>【選択肢】</p> <p>① 知っている ② 聞いたことはあるがくわしくは知らない ③ 知らない</p>
(2)	<p>「非核三原則」の内容について正しいものはどれですか。次の中から当てはまるものを1つえらんでください。</p> <p>【選択肢】</p> <p>① 核兵器を「つくり、使わず、持たず」</p> <p>② 核兵器を「つくり、持ちこませず、頼らず」</p> <p>③ 核兵器を「持たず、つくり、持ちこませず」</p> <p>④ 核兵器を「持たず、頼らず、つくり」</p> <p>⑤ 核兵器を「持たず、使わず、持ちこませず」</p> <p>⑥ 内容はわからない</p>

質問項目一覧表【調査Ⅱ：学校における取組の状況調査】

番号	質問項目
<p>問1【原子爆弾や戦争に関する平和教育の取組について】</p>	
<p>原子爆弾や戦争に関する平和教育の取組についてお聞きします。</p>	
(1)	<p>次の原子爆弾や戦争に関する平和教育の取組を実施しましたか。該当するものを全て選んでください ※ 本年度末までの予定を含む。</p> <p>【選択肢】</p> <p>① ひろしま平和ノートを活用した授業 ② 被爆体験を聴く会の開催 ③ 平和を考える集いの開催 ④ 折り鶴の作成 ⑤ 広島平和記念資料館の見学 ⑥ 原爆ドームの見学 ⑦ 折り鶴タワーの見学 ⑧ 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館の見学 ⑨ 本川小学校平和資料館の見学 ⑩ 袋町小学校平和資料館の見学 ⑪ 慰霊碑巡り ⑫ 他都市との交流 ⑬ 野外活動や修学旅行における平和学習 ⑭ 平和教育アーカイブスの活用 ⑮ 世界の戦争や平和について学ぶ学習 ⑯ その他 ()</p>
(2)	<p>原子爆弾や戦争に関する平和教育の実施に当たり、どのような学習場面を設定しましたか。該当するものを全て選んでください。</p> <p>【選択肢】</p> <p>① 被爆の実相や復興について理解する学習 ② 戦争や平和について考え議論する学習 ③ 平和について自分の考えを伝えたり、発信したりする学習 ④ 平和に向けた取組を実践する学習 ⑤ その他 ()</p>
(3)	<p>広島平和記念資料館を見学する学年について、該当するものを全て選んでください。</p> <p>【選択肢】</p> <p>① 小1 ② 小2 ③ 小3 ④ 小4 ⑤ 小5 ⑥ 小6 ⑦ 中1 ⑧ 中2 ⑨ 中3 ⑩ 高1 ⑪ 高2 ⑫ 高3 ⑬ 見学していない</p>
(4)	<p>広島平和記念資料館の見学に充てた時間について、該当するものを1つ選んでください。</p> <p>【選択肢】</p> <p>① 2時間以上 ② 1時間以上～2時間未満 ③ 30分以上1時間未満 ④ 30分未満 ⑤ 見学していない</p>
(5)	<p>広島平和記念資料館を見学する目的について、該当するものを全て選んでください。</p> <p>【選択肢】</p> <p>① 被爆の実相について理解するため ② 核兵器の現状について理解するため ③ 復興の過程について理解するため ④ その他 ()</p>
(6)	<p>原子爆弾や戦争について学習した後に、身の回りの平和について考える学習を行っていますか。該当するものを1つ選んでください。</p> <p>【選択肢】</p> <p>① いつも行っている ② ときどき行っている ③ あまり行っていない ④ 全く行っていない</p>
(7)	<p>原子爆弾や戦争について学習した後に、身の回りの平和について行動する学習を行っていますか。該当するものを1つ選んでください。</p> <p>【選択肢】</p> <p>① いつも行っている ② ときどき行っている ③ あまり行っていない ④ 全く行っていない</p>

